



①ふくろう先生の なにがおきたの? ほうしゃせん

これなんて書いてあるか読めるかな?
みんなで声を出して、一緒に読んでみよう。

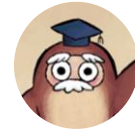
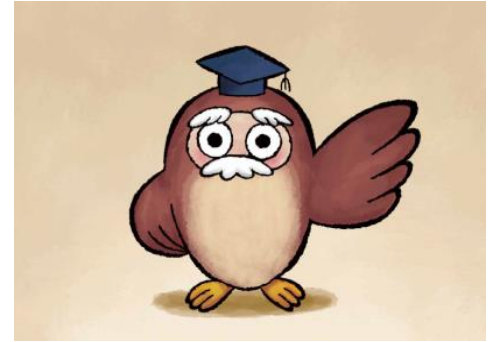
せーの、

「ふくろう先生の

なにがおきたの ほうしゃせん」

はじまり、はじまり〜。

抜く



「みんなのもの！」

わしはふくろう先生と呼ばれておる。

王子や森の仲間たちに

わかりやすく、

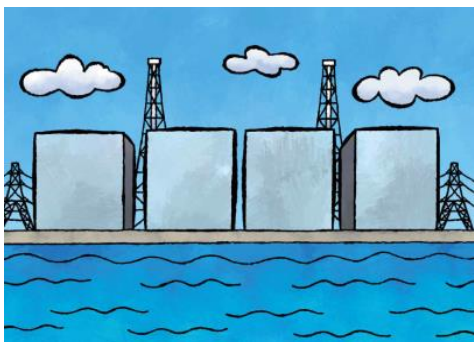
いろいろなことを教えているんじや。

今日は福島で見たり、聞いたり、

調べたりしてわかった、

放射線のことを話していくぞ。」

抜く



「みんな、原子力発電所って聞いたことはあるかのう？」

*子どもと対話

みんな毎日電気を使っているよね？
電気ってなーんだ？

(子ども回答)
そうだね。



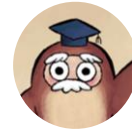
「原子力発電所は、
電気を作る工場のひとつなんじゃ。」

抜く



「
2011 年 3 月 11 日、みんなが住んでいる
東北地方で、東日本大震災という大きな
地震と津波があったんじゃ。」

抜く



「その大きな地震と津波のあとに、
福島にある原子力発電所で事故がおきて、
中にあった放射性物質が
原子力発電所の外に出てしまったんじゃよ。」

*子どもと対話

(イラストの「放射性物質」を指差しながら)
こんなふうに出てしまったんだね。

抜く



「それで、原子力発電所から
外に出た放射性物質は、
風によって、広がっていったんじゃ。」

*子どもと対話

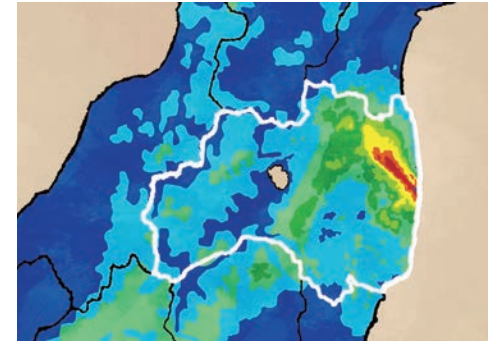
（イラストの「放射性物質」を指差しながら）
こんなふうな風にのって広がったんだよ。

①線まで抜く

*子どもと対話

（イラストの「日本地図」を指差しながら）
ここでクイズ〜！福島県ってどこだ？
（子ども回答）
そうだね。

②全部抜く



「風によって広がった放射性物質は、
今、みんなが暮らしている福島や
もっと遠いところまで飛んでいったんじゃないよ。」

*子どもと対話

(地図を指差しながら)

福島県だけじゃなくて、隣の宮城県とか、
遠くの方にも飛んでいったんだね。

抜く



「風によって飛んでいった放射性物質は、
雨や雪といっしょに地面に落ちて、
土や道路、屋根や木や、学校にもくっついたんじゃよ。
くっついたままだと、放射性物質から出る、
目に見えない放射線が飛んでくるから、
どうにかして減らさないといけないんじゃが…。

ジェスチャー
「雨」
指さし
「放射性物質」

では、どうしたら放射性物質を
減らすことができるか、
わかる人はおるかな?」

*子どもと対話



「放射性物質を減らすには、
3つの方法があるんじゃ。」

ジェスチャー
「指で3をつくる」

①線まで抜く

「1つ目は放射性物質を取ってしまうこと。」

②線まで抜く

「2つ目は閉じ込めてしまうこと。」

③全部抜く

①線まで抜く

②線まで抜く

③全部抜く



「3つ目は遠くに持っていく」とじゃ。
「このことを何と言っか、
わかる者はおるかのう？」

*子どもと対話



「そう、「この3つを除染って言っんじや」。

①線まで抜く



「では、家や学校の除染をすると
どうなるのか見てみよう。」

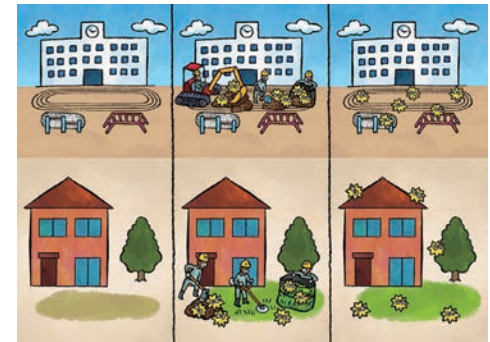
②全部抜く

※除染方法は、
市町村によって
違う場合があります。

①線まで抜く

②線まで抜く

③全部抜く



「放射性物質が減っているじゃろう。」

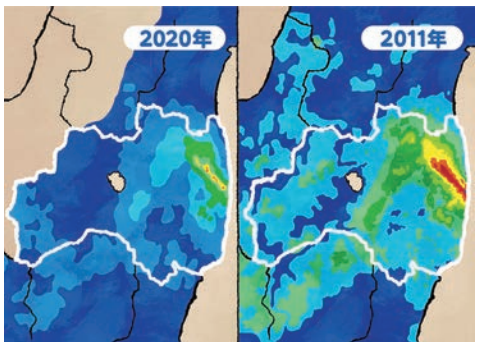
抜く



「家や学校もしっかり除染したんじゃよ。」

*子どもと対話

抜く



「これは、事故があった
2011年の地図じゃ。」



これは、それから10年が経った
2020年の地図じゃ。」

どうじゃ。

赤や黄色、緑のところが

小さくなっているのがわかるじゃろう。

これは、10年という時間が経過して、
放射線の量が減ったからなんじゃよ。

※地図は、福島県及び
その近隣県における
航空機モニタリングの
測定結果について、
2021年2月15日
原子力規制委員会発表の
資料より編集
2020年10月29日時点
(事故から約115か月後)の
空間線量率の分布マップ。
(2021/7/14時点で
最新)。



「よしよし、みななもの、
福島で起こったこと、やっている」ことが
わかったかのう？
放射線を学ぶことはみんなにとって
大事なことから、
これからも一緒に勉強していこう！」
おしまい。

*「ほうしやせんってどんなもの？」を
続けて読む場合のセリフ

次は、いま聞いた「放射線」や「放射性物質」について、
ふくろう先生がもっと詳しく教えてくれるよ。